

消防団からののお知らせ

募集

懐かし写真館

戸塚消防団通信の「懐かし写真館」の写真を募集しています。  
 ●家の蔵から昔の消防に関する服や物が見つかった  
 ●古い写真を整理したら「消防団員の集合写真が出てきた」「町内の道路に昔の救急車が写っていた」など、「古い写真あります。」とお電話かメールください。

応募は電話かメール、または各分団の広報委員にお伝えください。  
 TEL : 045-881-0119 e-mail : sy-totsuka-sy@city.yokohama.jp

消防豆知識⑦ AED(自動体外式除細動器) Automated External Defibrillator


救急救命講習で、正しい  
使い方を身につけよう

心肺停止状態の人に電気ショックを与え、心臓を蘇生させるための機器がAED(自動体外式除細動器)です。「使い方がわからない、難しそう」と尻込みする人も多いでしょうが、使用法は機械の音声メッセージに従い操作するだけでいたって簡単です。一刻を争う場面のため思わず役立ててください。  
 ※日頃から近所のAEDのある場所を確認しておこう。

<p><b>1</b> AEDを傷病者の近くに置き、本体を取り出す。</p> 	<p><b>2</b> AEDの電源を入れる。</p> 	<p><b>3</b> 電極パッドを貼る。</p> 
<p><b>4</b> AEDの音声メッセージに従い離れる。</p> 	<p><b>5</b> AEDのショックボタンを押す。</p> 	<p><b>6</b> 胸骨圧迫を再開する。</p> 

急な病気や怪我で受診の相談をしたいときは・・・?  
 横浜市救急医療相談センター (#7119)

**#7119**  
 ※または、045-232-7119  
 すべての電話でご利用できます。  
 受診できる病院・診療所を知りたい時は・・・?  
 電話機の **1** を選択してください。  
 急な病気や怪我で、病院・診療所に行くか、救急車を呼ぶか迷う時は・・・?  
 電話機の **2** を選択してください。



表紙クイズの答え

正解は  
**2.ホースの持ち方訓練**でした。右の指導者から持ち方を教わって、真似ているポーズでした。



懐かし写真館

戸塚消防組の半被

戸塚消防団の前身である警防団よりもさらに前、戸塚区がまだ鎌倉郡だった時代の戸塚消防組組頭の法被、半纏、頭巾が所有者の山口氏から一分団坂間副分団長に預けられました。  
 大切に保管されており、保存状態も良く、当時の消防の貴重な資料として、現在保存先を検討中。



戸塚消防団通信 vol.7 2022.10  
 To Sho Dan News

区民のみなさん  
 特集 どこまで知ってる?消防団

未来のヒーロー候補 消防団はじめました  
 消防団からののお知らせ  
 消防豆知識⑦ AED(自動体外式除細動器)  
 懐かし写真館

表紙クイズ

女性団員が一緒に構えているポーズ、  
 いったい何をしているのでしょうか?  
 次の3つの中からお答えください。

1. 訓練前の準備運動
2. ホースの持ち方訓練
3. 太極拳

正解しても何の賞品もありませんが、  
 最後のページに正解があります。



戸塚消防団通信  
 バックナンバー QR

# 区民の皆さん どこまで知ってる? 消防団!

## 戸塚消防団の活動

消防団は、消防組織法に基づき市町村に設置された消防機関です。地域における消防防災のリーダーとして平常時、非常時を問わず地域に密着し、住民の安心と安全を守るという貴重な役割を担います。

団員は非常勤特別職の地方公務員である一方、他に本来の仕事や学業、家事をしながら自らの意志での参加、すなわちボランティアとしての性格も合わせ持っています。団員は日頃から教育訓練を受けており、災害発生時には即時に対応できる能力を身につけるよう努力しています。

## 地域の防災リーダーとして 安全・安心が実感できる戸塚を目指して



**地域での広報活動** 防災意識向上のため、毎月防火呼びかけながら巡回しています。最近では救急車の適正利用についても呼びかけました。  
**地域の皆さんと防災訓練** 地域の防災訓練に参加、防災意識の向上を図り、各家庭や自治体が持っている機材の取り扱い方を指導しています。  
**救急救命講習** 講習で正しい技術を習得し、防災訓練等で地域の皆さんにお伝えしています。また、実際に人命を救助した消防団員が増えています。  
**逃げたニシキヘビの捜索** 横浜市危険動物逸走警戒体制で動物愛護センター、区役所、消防署等と連携した活動を実施しました。

## 火災や大規模災害発生時に備えて 消防署と連携



**風水害対策訓練** 消防署と連携し、各分団が組織的に風水害に対応する訓練をしています。  
**解体建物を使用した訓練** 扉を切断し、逃げ道確保など災害現場に即した訓練を実施しています。  
**火災対応訓練** 消防署との連携や放水活動の手順を訓練で確認しています。  
**資機材取り扱い訓練** 資機材を正確に安全に使用できる様に訓練しています。また、定期的に点検をしています。

## 消防団 イトセトラ

### 消防出陣式 (2021.11.21)



消防出陣式が中止になり、消防出陣式のPR動画の様子を撮影。

戸塚消防団はとつか区民まつりや防災関連のイベントに参加し、地域の皆様と交流し、防災意識の向上を図っています。

### とつかふれあい区民まつり (2019.11.03)



### 横浜市消防団協力事業所

事業所としての消防団への協力があり、事業所の「社会貢献」を広く認められることを目的としたもので要件を満たした事業所を認定。湘南医療福祉専門学校は、当該事業所に2名以上の消防団員がいるという要件を満たした。戸塚区での消防団協力事業所の誕生は4年ぶり15事業所目。



## 消防団員って、こんな人



まんが：MEIKO

## 町のヒーロー!! これが消防団員の装備だ!!



## 未来のヒーロー候補 消防団はじめました



**3班 今松 均也(左) 薫(中) 史也(右)** かねてよりお誘い頂いていた消防団の訓練の見学に行った際に、とても興味深く即入団を決意。18歳以上から入団できると聞いて、息子2人に話をすると「自分たちも人の役に立ちたい!」と親子3人で入団することになりました。  
**2班 浜谷 ヨセフ** モロッコ出身で、25年前に来日し日本国籍を取得済みです。知人の紹介で入団しました。日々の消防団活動での経験を生かし、地域の方々のお役に立ちたいと思い、頑張っております。  
**1班 木村 純也(左) 川邊 達也(右)** 川邊 父の勧誘と地元に戻ってきたことがきっかけで入団しました。消防活動を通して地域貢献したいと思います。  
**木村 川邊さん**の紹介で入団しました。有事の際に活躍できるように、訓練で得た経験を活かしていきたいと思っています。  
**2班 加藤 直喜(左) 由美(右)** 直喜 災害に備えて点検や訓練ができることをとても嬉しく思っています。  
**由美** 消防団の先輩方との親睦も深まり日々充実した生活を送っています。

## 辞令交付式と 新入団員研修

毎年4月と10月に新入団員の辞令交付式と新入研修が行われます。  
令和4年度は4月に39人、10月に29人が新たに団員となりました。



## “目指せ! 地域の防災リーダー” 消防団員 募集中!

**入団までの流れ** ●活動服等貸与されます

- 1 入団資格を確認** ■18歳以上の男女 ■戸塚区在住・在勤・在学
- 2 戸塚消防署へ連絡** 入団に必要な手続きを丁寧に説明します!
- 3 入団完了** 入団手続き完了後、晴れて消防団員となります!

問い合わせ先: 戸塚消防署総務・予防課消防係  
TEL/FAX: 045-881-0119

●報奨金他、各種手当・制度あります

<b>報酬・手当</b> ●年額報酬 36,500円~ ●活動報酬: 災害7,000円 訓練等3,500円	<b>被服・装備品</b> 活動服・ヘルメット・ 編上靴・制服等、活動 に必要な装備品を貸与 します。
<b>退職報奨金</b> 消防団員として5年以上勤務 して退職した場合、退職報奨金 の支給があります。	<b>公務災害補償制度</b> 方が一、災害活動や訓練 中に負傷した場合は 公務災害として災害補 償の対象となります。
<b>健康診断無料</b> 基本的な健康診断が無料で受 けられます。	